

大阪で温泉？

大阪市内で初めて本格的な温泉が出たのは 1988 年です。

2017 年時点の源泉数は 47。大阪府で見れば、2016 年度で 172 あります。

掘作技術の進歩で今まで届かなかった地下深くの源泉に到達できるようになったことと、都市型温泉ブームが源泉増加の原因です。

近頃は、インバウンドで温泉人気が高いため、さらに掘削箇所が増えているそうです。



大阪平野は基盤石がせり上がっている上町台地の地下を除き、「大阪層群」という軟らかい地層が広がっています。この層は地表から 1,500 メートルの深さがあります。この深さがポイントのようです。

一般的に、「100 メートル掘ると地下水は 3 度上がる」といわれているからです。

もう一つポイントがあります。

西日本では、日本列島の下にフィリピン海プレートが沈み込んでいます。この作用によって、大阪の地下でも熱が発生していると思われます。

「遠くの温泉より近くの銭湯」

まして銭湯が温泉ならば、それほど幸せなことはありません。

大阪府では 2008 年度から、800 メートル以内には新たな温泉井戸を掘削できなくなりました。しかし、規制があるからそれでいいというものではありません。

利用を適量に留めなければ。